

「見方・考え方」を捉え、働かせるプロセスを明確にしました！

新学習指導要領では、課題解決的な学習の過程で「見方・考え方」を働かせることが求められています。「新しい社会」では、「見方・考え方」を捉え、捉えた「見方・考え方」を働かせる場面をマークやコーナーで示しました。地理は単元の導入部、歴史は第1章、公民は本文ページに「見方・考え方」を捉える場面を設けています。単元の学習を通して「見方・考え方を働かせた課題解決的な学習」(＝深い学び)が実現できます。

捉える場面

歴史 (p.12) 捉える場面

歴史的な見方・考え方 比較

3 物事の特徴をとらえるには、別の物事と「比較」することが必要です。例えば、左の(1)や(2)のように、前後の時代を比べて、共通する点や異なる点を考えることで、その時代の特徴をとらえることができます。

地理 (p.55) 捉える場面

見方・考え方 世界各地の課題の共通点やちがいは、どのような理由があるのでしょうか。この章では、課題の背景にある、それぞれの地域の「つながり(空間的相互依存作用)」に着目して学習しましょう。

働かせる場面

資料から時代の特徴をとらえよう

この項では、①と②はともに、現在の東京都港区高輪の様子をえがいたものです。
 (1) ①と②を比べて、①服装、②乗り物、③海上の様子、④その他の四つの視点から、異なる点を挙げましょう。
 (2) ①と②を比べて、共通する点を挙げましょう。
 (3) ③から④への変化は、p.6～7の「歴史の流れ」のどのタイミングで起こったものか、考えましょう。

地理・歴史では「みんなでチャレンジ」を新設し、対話的な学習場面を充実しました。

歴史 (p.12) 働かせる場面

見方・考え方 比較 ①と、p.66①やp.76①とを比べて、戦い方のちがいを読み取りましょう。

歴史 (p.84) 働かせる場面

公民 (p.54-55) 働かせる場面

精神の自由	
思想・良心の自由	第19条
信教の自由	第20条
集会・結社・表現の自由	第21条
学問の自由	第23条

見方・考え方 (1) 検閲によって制限される自由は、⑤のどれか、挙げましょう。
 (2) 検閲や検閲はなぜ問題か、「個人の尊重」の観点から考えましょう。

6 検閲を受けた本(小林多喜二の作品)

●「見方・考え方マーク」・「見方・考え方コーナー」一覧

分野	見方・考え方	掲載ページ
地理	位置や分布	p.7, 13, 15, 19, 20, 21, 31, 36, 51, 71, 93, 157, 169, 171, 181, 216
	場所	p.34, 36, 38, 48, 61, 79, 208, 223, 256
	人間と自然環境との相互依存関係	p.35, 41, 45, 76, 134, 163, 187, 191, 194, 223, 226, 232, 247, 263, 265, 266
	空間的相互依存作用	p.55, 60, 65, 86, 96, 97, 122, 134, 196, 200, 205, 206, 212, 238, 241, 242, 268
	地域	p.72, 84, 97, 98, 110, 157, 173, 175, 178, 196, 203, 205, 218, 220, 226, 230, 232, 235, 236, 244, 254, 263, 265, 266
歴史	時期や年代	p.8, 9, 57
	推移	p.10, 11, 15, 26, 186, 212, 235, 248, 257
	比較	p.12, 15, 22, 32, 37, 42, 67, 70, 72, 73, 84, 96, 102, 106, 126, 132, 170, 177, 179, 191, 201, 215, 265
	相互の関連	p.12, 13, 15, 57, 60, 77, 93, 111, 113, 130, 132, 143, 146, 156, 165, 167, 182, 191, 204, 220, 227, 231, 241, 243, 260, 266
	現在とのつながり	p.12, 13, 15, 35, 46, 55, 57, 86, 91, 100, 105, 138, 141, 185, 199, 239, 245, 268, 270, 273, 275, 277, 280, 282
公民	位置や空間的な広がり	p.10, 17, 47, 216
	推移や変化	p.12, 15, 17, 20, 62, 115, 153, 216
	持続可能性	p.6, 9, 118, 125, 171, 176, 178, 180, 197, 210, 214, 巻末3
	対立と合意	p.24~31, 34, 193, 210
	効率と公正	p.24~31, 34, 38, 56, 61, 70, 73, 76, 79, 99, 118, 122, 126, 128, 139, 140, 141, 163, 164, 169, 176, 187, 193, 210
	個人の尊重と法の支配	p.41, 48, 54, 62, 63, 65, 70, 74, 103
	民主主義	p.78, 81, 90, 97, 118, 122
	分業と交換	p.140, 176
	希少性	p.131, 151, 153, 176
協調	p.183, 210, 212	



主体的・対話的で深い学びを実現！ —「見方・考え方」を働かせた課題解決的な学習の工夫—

「問い」を軸にした単元の構造化で課題解決的な学習を実現！

社会科の学習では、単元ごとや1単位時間ごとに問い(課題)を立て、解決していく課題解決的な学習が求められています。それを可能にするために、単元を貫く問いである「探究課題」と、1単位時間ごとの「学習課題」を橋渡しし、「探究課題」の解決を補助する「探究のステップ」を設けました。これらの「問い」を軸に単元を構造化することで、単元の導入からまとめまでの流れを通して課題解決的な学習を効果的に実現できます。

「問いの構造図」で課題解決の流れを「見える化」

「問いの構造図」は、「探究課題」や「探究のステップ」、「学習課題」の関係を分かりやすく示した模式図です。教師用指導書には全単元の「問いの構造図」を掲載予定です。

裏面に歴史的分野の1単元分の「問いの構造図」を掲載していますので、ご覧ください！



●「問い」を軸にした課題解決的な学習のプロセス(歴史的分野の例：第3章 中世の日本)

導入

単元の導入で「探究課題」を立てます。

探究課題 中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

歴史 (p.63)

「探究課題」を立てることで生徒が単元の見通しを持って、主体的に学習が進められます。

展開

1単位時間の問いである「学習課題」で追究を進めます。

6 応仁の乱と戦国大名

歴史 (p.84)

応仁の乱によって、社会はどのように変化していったのでしょうか。

探究課題 応仁の乱の後、社会はどのように変化したが、本文からぬき出しましょう。

学習課題 戦国大名はどのように国を支配したか、次の語句を使って説明しましょう。[城下町/分国法]

「探究のステップ」で学習を整理し、単元のまとめで「探究課題」を解決します。

探究のステップ 師の課題を解決しよう(各部の学習の最後に取り組みましょう)

なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。

武士が政権をにぎって、幕府を開くまでの間に、さまざまな戦いが行われたね。

鎌倉幕府の政治は、古代の貴族による政治と、どのような点が異なったかな。

東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

この時代が起こった戦いでは、それぞれの勢力が対立したかな。

室町文化には、鎌倉文化と比べてどのような特徴があったかな。

中世の探究課題を解決しよう

探究課題 中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

「武士による政治」を中心に学習したが、東アジアの国々もさまざまな交流があったね。

この時代には、武士だけでなく、民衆も成長したね。

古代と同じように、東アジアの国々もさまざまな交流があったね。

武士だけでなく、東アジアの国々との関係や民衆の動きにも着目する必要がありますね。

「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できます。

歴史 (p.95)

「問いの構造図」の例

歴史的分野 第3章 中世の日本 (p.62~97)

この章で扱う主な見方・考え方

見方・考え方

比較 現在 関連

単元を貫く課題の提示

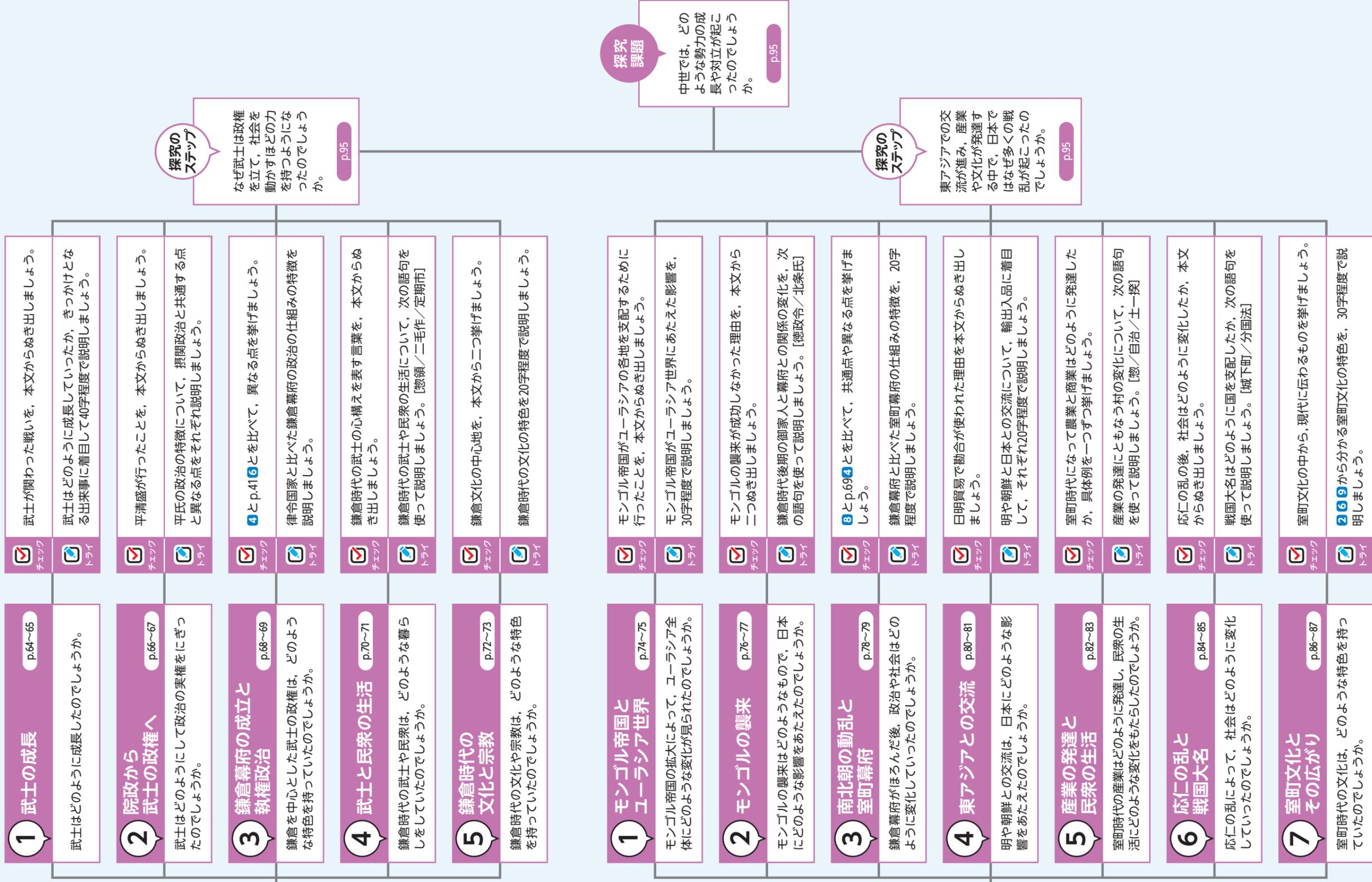
解決を補助する問いの提示

1時間ごとの問い(学習課題)の提示

学習課題の解決

解決を補助する問いの解決

単元を貫く課題の解決



「問いの構造図」の例

地理的分野

第2編第1章 世界各地の人々の生活と環境 (p.33~53)

この章で扱う主な見方・考え方

見方・考え方
人間と自然環境との相互依存関係
場所

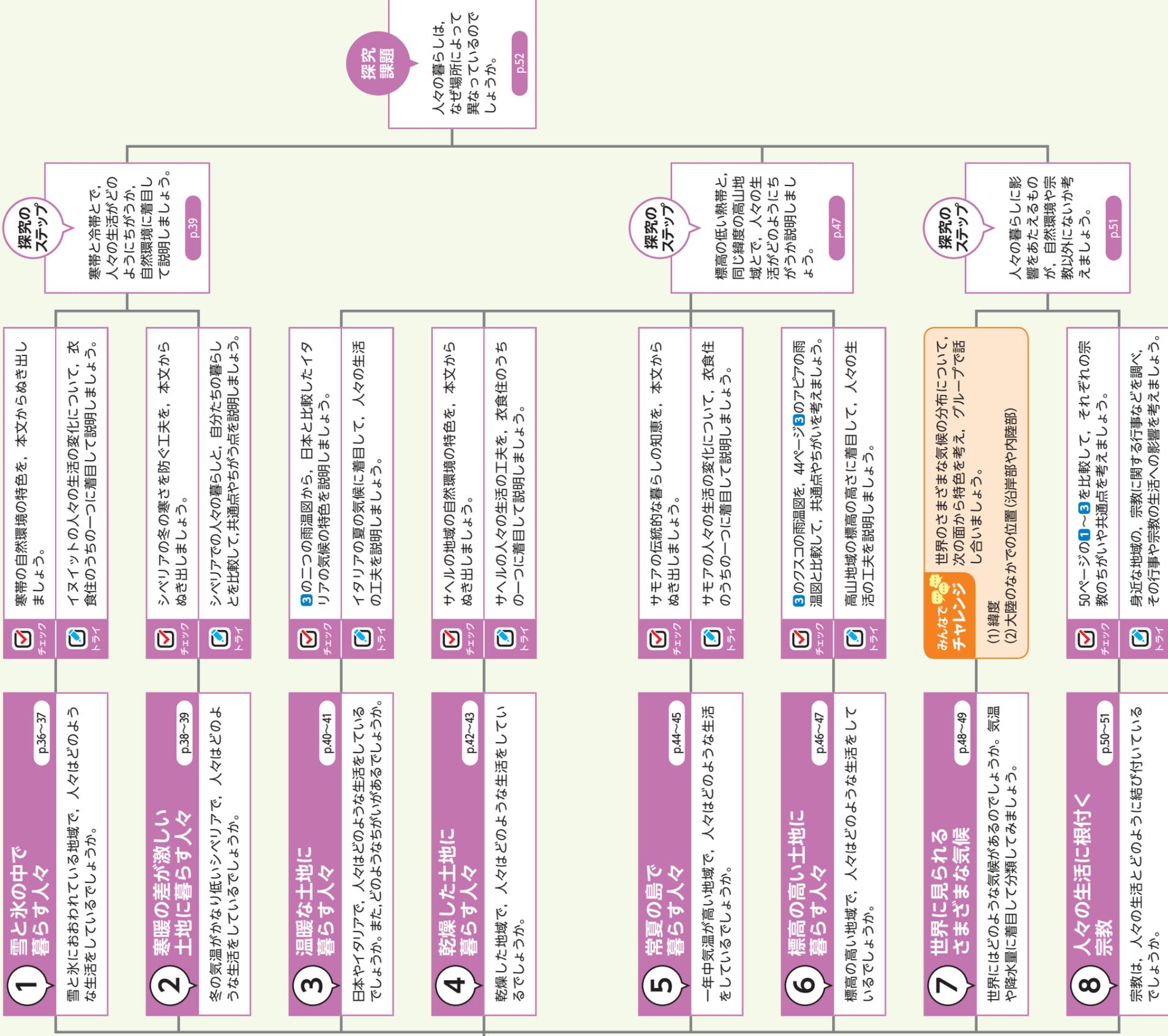
単元を貫く課題の提示

1時間ごとの問い(学習課題)の提示

学習課題の解決

解決を補助する問いの解決

単元を貫く課題の解決



「問いの構造図」の例

公民的分野 第2章 個人の尊重と日本国憲法 (p.37~74)

この章で扱う主な見方・考え方

見方・考え方

持続可能性
対立と合意
個人の尊重と法の支配

単元を貫く課題の提示

解決を補助する問いの提示

1時間ごとの問い(学習課題)の提示

学習課題の解決

解決を補助する問いの解決

単元を貫く課題の解決

1 人権の歴史と憲法 p.40~41 人権と憲法にはどのような関係があるのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	法の支配とは、どのようなことを意味しているか、本文からぬき出しましょう。
2 日本国憲法とは p.42~43 日本国憲法はどのような考え方に基づいて作られているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	立憲主義が重要な理由を、憲法の役割に着目して説明しましょう。
3 国民主権と私たちの責任 p.44~45 なぜ国民主権は大切なのでしょう。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	日本国憲法の三つの基本原則を、本文からぬき出しましょう。
4 平和主義の意義と日本の役割 p.46~47 平和主義をかげる日本は国際社会でどのような役割を果たしていくべきでしょう。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	日本国憲法の仕組みの特色を、大日本帝国憲法とのちがいに着目して説明しましょう。
5 基本的人権と個人の尊重 p.48~49 なぜ基本的人権を保障することが重要なのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	国民主権とは、どのようなことを意味しているか、本文からぬき出しましょう。
1 平等権① 共生社会を目指して p.50~51 日本にはどのような差別があり、差別を無くすためにどのような努力がなされてきたのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	国民民主権が重要な理由を、「法の支配」の観点から説明しましょう。
2 平等権② 共生社会を目指して p.52~53 共生社会を築いていくために、私たちにはどのような取り組みや努力が求められているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	日本が平和主義をかかげる理由を、本文からぬき出しましょう。
3 自由権 自由に生きる権利 p.54~55 自由権とはどのような権利であり、日本国憲法でどのように保障されているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	国際平和のために日本が果たす役割について、次の語句を使って説明しましょう。[自衛隊/被爆国]
4 社会権 豊かに生きる権利 p.56~57 社会権とはどのような権利であり、日本国憲法でどのように保障されているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	個人の尊重とは、どのようなことを意味しているか、本文からぬき出しましょう。
5 人権を確実に保障するための権利 p.58~59 私たちの人権保障を確かなものにするために、日本国憲法ではどのような権利が保障されているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	基本的人権の保障に必要なことを、次の語句を使って説明しましょう。[法の下の平等]
6 「公共の福祉」と国民の義務 p.60~61 私たちは憲法上、どのような責任と義務を負っているのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	現在も日本に残っている差別の例を、本文からぬき出しましょう。
1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権 p.62~63 産業や科学技術の発展にもなつて、どのような課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	差別をなくすために重要なことを、「個人の尊重」の観点から説明しましょう。
2 新しい人権② 情報化の進展と人権 p.64~65 情報化の進展にもなつて、どのような課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	インクルージョンの実現とは、どのようなことを意味しているか、本文からぬき出しましょう。
3 グローバル社会と人権 p.66~67 国際社会にはどのような人権上の課題があり、解決に向けてどのような取り組みがなされてきたのでしょうか。	<input checked="" type="checkbox"/> チェック <input type="checkbox"/> トライ	共生社会の実現のために必要なことを、50・51ページもふり返って考えましょう。

探究のステップ

1 節 人権と日本国憲法

憲法が大切にされてきたのはなぜでしょう。

p.39・40

探究課題

日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちはどのように社会に関わるべきでしょう。

p.39

探究課題

日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちはどのように社会に関わるべきでしょう。

p.71

探究のステップ

2 節 人権と共生社会

日本国憲法では、なぜ人権を保障することが大切なのでしょう。

p.39・50

探究のステップ

日本国憲法では、なぜ人権を保障することが大切なのでしょう。

p.68

探究のステップ

3 節 これからの人権保障

新しい人権が認められてきたのはなぜでしょう。

p.39・62

探究のステップ

新しい人権が認められてきたのはなぜでしょう。

p.68